

## 第9回

[日 時] 平成29年9月16日 (土) 18:30-20:30

[場 所] 百俵館 石巻市小船越字山畑343-1

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう - 発信！未来へ -

[使用したテキスト] 『耕人』第4号.pdf

[活動内容詳細]

### ●塾長挨拶 (木村塾長)

「念ずれば花開く」という坂村真民さんの言葉について、『耕人』で紹介されました。「世界に誇れる石巻地域」をつくっていくために志を高く持って努力することや、多くの人たちと力を合わせるなど、これからの塾生の取組に向けて、木村塾長から激励されました。



今回の研修会場になった「百俵館」は、長岡藩の藩士小林虎三郎が提唱する「米俵百俵の精神」に基づく地域の拠点を目指しています。大正時代にできた大谷地農協の農業倉庫を改修してできた場所であり、豊富な図書に囲まれた落ち着いた雰囲気の中で、塾生は研修を深めます。

### ●「プロジェクトK」の活動報告 (平塚指導委員長)



川開き祭り当日のゴミ拾いでは、「ポイポイ捨てずにホイホイ拾おう」のポスターや手作りゴミ箱を持って取り組んだ活動により、ゴミを介して心の交流も生まれ、「プロジェクトK」では、塾生一人一人の積極的な行動力によって新たな学びを得ることができたことを確認しました。

### ●アイスブレイク -1人1分の好きなもの紹介-



塾生同士が相手の話を聞き合い、和やかな雰囲気の中で交流を深める塾生たち

●活動の流れと見通しについて

今回から開始するプロジェクト「I」は石巻の「I」であり、愛情の「I」でもあります。石巻地域を世界に誇れるまちにするためにどんなことを、どのようにやっていけばよいかを考えるプロジェクトです。

●講師の自己紹介 - 自身の人生に触れた内容の自己紹介 -

プロジェクト「I」は、「であい」と「ふれあい」と「関わりあい」の3つの「あい」=「I」になります。3人の講師の方の話を聞きながら「であい」、次に講師と塾生が交流して「ふれあい」、「関わりあい」ます。塾生は、メモを取りながら真剣に話を聞いていました。

- ・「石巻復興きずな新聞舎」代表 岩元 暁子氏



神奈川県横浜市出身。外資系IT企業勤務を経て、2011年4月にボランティアとして石巻へ。長期に渡り石巻に滞在し、泥かき、漁業支援、避難所支援、工場支援、仮設支援に携わった後、2012年4月よりピースボート災害ボランティアセンター（PBV）の専従職員になりました。2012年7月より、仮設住宅向け無料情報紙「仮設きずな新聞」の編集長を務めました。2016年3月、PBVの石巻での活動終了に伴い、PBVを退職し「石巻復興きずな新聞舎」を設立しました。

- ・「上釜を愛する会」 西村 真由美氏

宮崎県出身。民間企業を経てNPO法人「JEN」（本部東京）の国際スタッフになりました。震災から2年半が過ぎ、転勤の辞令を契機にJENを退職。2016年3月19日に、石巻市上釜地区の居住者、出身者、企業・団体など上釜地区に関心を寄せ、その復興と地域住民の幸せを願う者同士の情報交換活動及び地域づくりの促進を図ることを目的とする「上釜を愛する会」を設立しました。

・「みらいサポート石巻」 専務理事 中川 政治氏



京都府出身。国際協力NGO(社団法人日本国際民間協力会)職員としてヨルダンでのイラク難民支援、ハイチでの地震被災者支援事業に関わりました。東日本大震災発生後、一般社団法人石巻災害復興支援協議会(現：みらいサポート石巻)の設立に関わり、NPO-NGOの事務局として、復旧・復興活動の連携調整の役割を担っています。

●交流

1. 塾生が3グループに分かれて、3人の講師のところに15分ごとに移動する。
2. 質疑応答（塾生の質問に講師が回答する。）

■「石巻復興きずな新聞舎」代表 岩元 暁子氏



・「最後のひとりが仮設住宅を出るまで」を目標に、医療・健康や心のケア、地域の復興状況をまとめた新聞を発行し、仮設住宅・復興住宅にボランティアの手で届けてきました。

■「上釜を愛する会」 西村 真由美氏



・今住んでいる住んでいないにかかわらず、上釜を思う気持ちはみんな一緒だと思う。新しい形での地域の参画の仕方を、皆さんと考えていきたいです。

■「みらいサポート石巻」 専務理事 中川 政治氏



・バーチャルリアリティー（VR）技術を利用し、震災から約1カ月後の被災地の様子をGoogleで360度眺めることができる体験型の展示を始めました。

●振り返り・まとめ...グループごとに1人10秒で感想発表

## メニュー

ホーム	▼
耕人塾の活動	▼
令和2年度の活動	>
令和元年度の活動	>
平成30年度の活動	>
平成29年度の活動	▼
第1回	
第2回	
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7-8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
番外編 実践活動	
学生部	
平成28年度の活動	>
平成27年度の活動	>
平成26年度の活動	>
平成25年度の活動	>
平成24年度の活動	
報道・受賞	